

平成28年度 事業計画書・収支予算書

**「元気でにぎわいのある県都ふくしま」を目指して
～福島再生への挑戦～**

 福島商工会議所



私たちのいちばん大切な仕事です。
企業の活力、地域の元気

福島再生への挑戦

平成28年度 事業計画書・収支予算書

目 次

■事業計画書

第1部 平成28年度事業の考え方と推進体制

1. 基本理念と施策目標	2
2. 推進体制	4

第2部 施策体系と事業

1. 事業方針	6
2. 施策体系	8
(1) 施策Ⅰ 活力ある福島の創造	10
(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展	12
(3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所	16

第3部 部会・委員会事業

1. 部会事業	18
2. 委員会事業	24

■収支予算書

29



福島商工会議所
プロフィール

設立／大正6年7月28日

※県内で1番目、全国で66番目の商工会議所として設立

所在地／福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階

法的根拠／商工会議所法

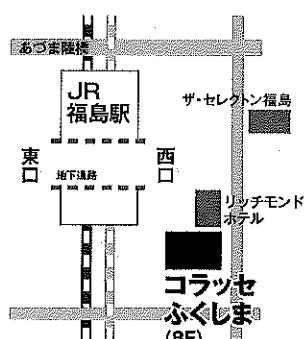
※昭和28年8月1日法律第143号

会員数／3,885 (H28.3.17現在)

議員定数／130



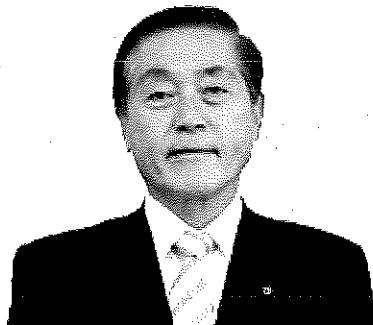
商工会議所マークは、商工会議所の英語名 CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY の頭文字 CCI を図案化したもので、昭和32年に日本商工会議所が全国から募集し、1等に入選した作品です。



TEL 024-536-5511

福島市三河南町1-20 コラッセふくしま 8F

1. 基本理念と施策目標



元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して
～福島再生への挑戦～

会頭 渡 邊 博 美

これまで商工会議所の基本理念として、「元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して」を掲げ、常に「現場主義」をベースに事業展開を図ってまいりました。

昨年は「ふくしまデステイネーションキャンペーン（ふくしまDC）」による観光PR事業の推進、地元消費拡大を図る「笑顔満開プレミアム20」共通商品券発行事業、地元商店街との連携によるにぎわい創出イベント「福島駅前元気プロジェクト」など、福島復興へ向けた各種事業を展開してまいりました。また、郷土の祭りである「福島わらじまつり」の東北六魂祭出演や、昨年開催されたミラノ万博への出演など、国内外で福島の元気な姿を発信してきたところです。

しかし、東日本大震災と原発事故から5年が経過しましたが、福島は今も有事であり、非常時であることには変わりません。福島市における除染は着実に進んでいるものの、深刻化・長期化している風評被害などにより、地域経済環境は未だ厳しい状況にあります。

本年は、福島再生に向け、これまで積み上げてきた各種事業が具体的に動き出す大きな節目の年となります。本年のスローガンを「福島再生への挑戦」として掲げ、「健康をキーワードにしたまちづくり」を復興再生のテーマとし、まちづくり、中小企業振興策の推進、観光振興及び交流人口拡大の推進などの視点から、福島市の将来ビジョンを策定してまいります。

中心市街地においては、本年度着手される福島駅前通りリニューアル整備事業、太原総合病院の移転リニューアルに伴う周辺商店街の整備事業をはじめ、今後各種事業が具体化することから、商工会議所としてこれまで以上にリーダーシップを發揮して推進してまいります。

郊外に目を向けると、東北中央自動車道福島JCT～福島大笹生IC間の供用開始に伴う道の駅の整備と周辺工業団地の土地利用促進など地域開発事業が進展するとともに、ハザードマップに対応した新たな基幹道路についての検討など、広域連携によるまちづくりを進めてまいります。

中小企業の経営支援については、事業所の抱える経営課題の解決に向けた寄り添った支援に努めるとともに、経営発達支援計画に基づく伴走型個社支援の強化を図り、新規創業者に対する支援についても充実を図ってまいります。

観光振興については、「アフターDC」を成功させ、その効果を継続的に発展させるため、関係団体との連携のもと各種事業を展開し、地域資源を活用した本県の魅力発信による誘客促進を図るとともに、インバウンド対策及び観光振興のあり方についての調査・研究を進めてまいります。

また、本年度は議員・役員の改選期であることから、第29期新体制としての組織の確立を図り、各種事業を展開してまいります。また、福島商工会議所創立100周年となる平成29年に向け、基本コンセプトを「地域と会員事業所の足腰を強く丈夫に！」、キャッチフレーズを「ふるさとの元気を支えて1世紀。」とし、地域経済のリーダー的存在として福島市の経済を牽引してまいりたいと存じます。

私たちは福島再生を一歩ずつ進めてまいるべく、県、市、各地商工会議所、各種団体などの連携により「オール福島」で取り組み、「福島再生への挑戦」に取り組んでまいる所存であります。

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して ~福島再生への挑戦~

商工会議所の使命

地域経済の活性化

まちのにぎわいを支え、未来を創り、福島の復興と再生を推進します。

企業の安定・成長

会員事業所の持続的発展に必要な事業を推進します。

商工会議所の活性化

会員事業所への支援強化に必要な足腰の強い組織づくりを推進します。



I 活力ある福島の創造

- A. 政策提言・要望活動の推進
- B. 地域開発事業の推進
- C. 復興・再生の推進
- D. にぎわい・まちづくりの推進
- E. 観光による地域振興と交流の推進
- F. 地域の祭り・伝統文化の興隆
- G. 消費拡大の推進



II 会員事業所の発展

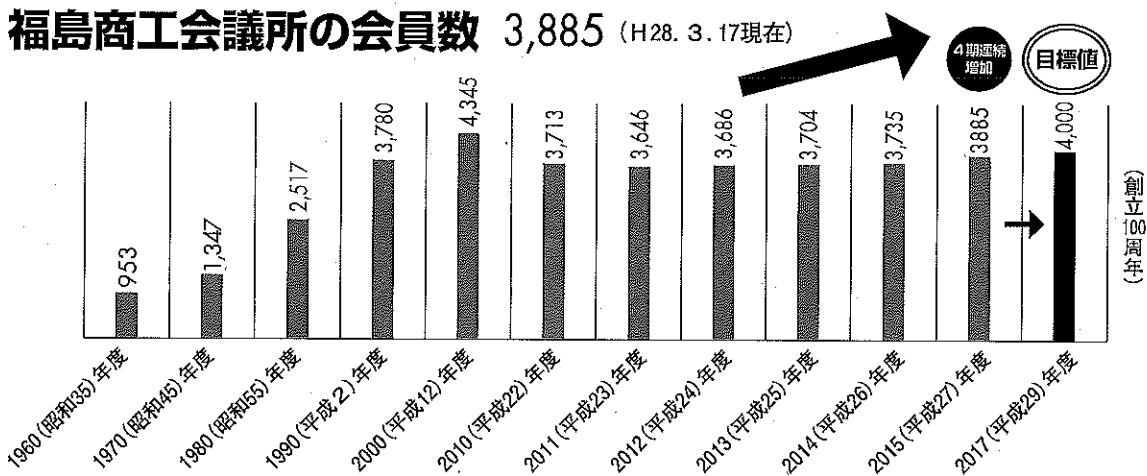
- A. 小規模事業者の伴走型支援の推進
- B. 相談支援体制の充実・強化
- C. 経営革新の推進
- D. ビジネス拡大の推進
- E. 事業再生・事業承継の支援
- F. 創業の推進
- G. 人材育成事業の推進
- H. 雇用対策事業の推進
- I. 各種調査・情報提供
- J. 業種別振興事業の推進
- K. 福利厚生の充実



III 魅力ある商工会議所

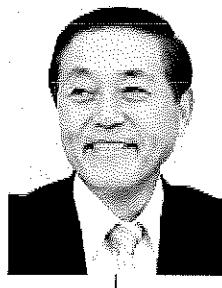
- A. 商工会議所の運営強化
- B. 創立100周年に向けた施策の検討
- C. 運営基盤の強化
- D. 事務局機能の強化
- E. 情報収集力と発信力の強化

福島商工会議所の会員数 3,885 (H28.3.17現在)

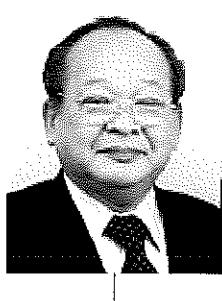


第1部 平成28年度事業の考え方と推進体制

2. 推進体制



会頭 渡邊 博美
福島ヤクルト販売株 代表取締役会長



副会頭 渡邊 和裕
株山水荘 代表取締役

担当部会 ◆建設業部会、運輸交通業部会、旅館飲食業部会

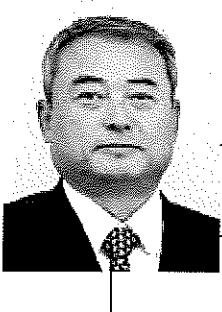
担当委員会 ◇観光・交流委員会



副会頭 後藤 忠久
株後藤歯科商店 代表取締役

担当部会 ◆卸商業部会、小売商業部会、情報文化部会

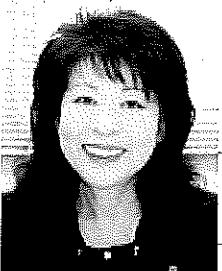
担当委員会 ◇復興・再生委員会、にぎわい・まちづくり委員会



副会頭 菅野日出喜
菅野建設株 代表取締役

担当部会 ◆工業部会、金融業部会

担当委員会 ◇総務委員会、中小企業振興委員会、創立100周年記念事業実行委員会

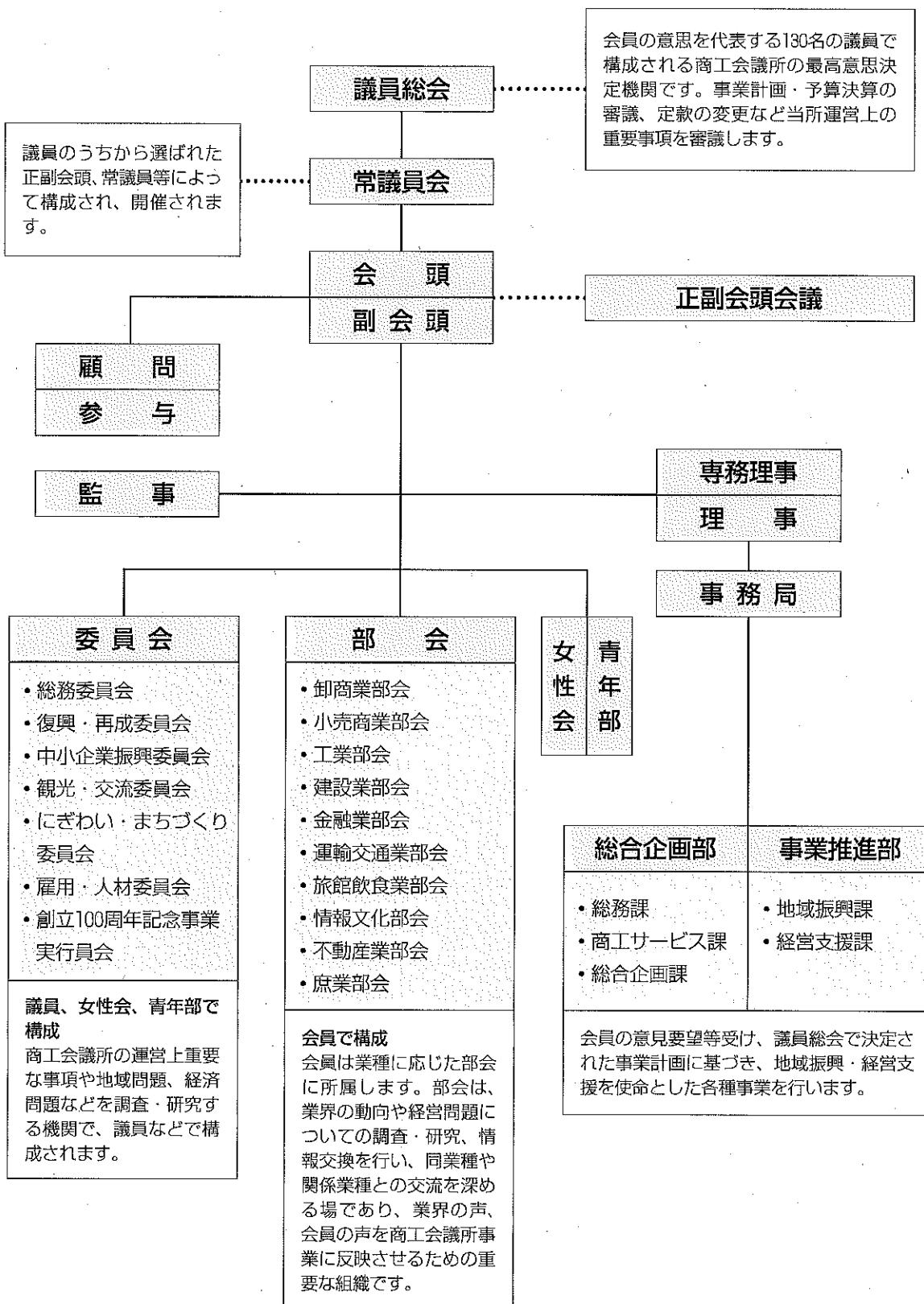


副会頭 和合アヤ子
福島県住宅生活協同組合 理事長

担当部会 ◆不動産業部会、庶業部会

担当委員会 ◇雇用・人材委員会

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して ~福島再生への挑戦~



第2部 施策体系と事業

1. 事業方針

1. 基本理念 「元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して」

2. 年間テーマ 「福島再生への挑戦」

3. 事業方針

(1) 福島再生に向けたまちづくりの具体化（将来ビジョンの策定）

平成28年度は、これまで積み上げてきた各種の事業が具体的に動き出す大きな節目の年となる。福島の再生とさらなる発展に向けて、商工会議所がこれまで以上にまちづくりのリーダーシップを發揮していく。

(2) 個社支援の強化

震災以降、有事にさらされている会員事業所の経営支援を最優先課題として体制の整備を図っていく。

(3) 議員・役員改選と創立100周年に向けた足固め

第29期の新体制を確立し、平成29年度の創立100周年を控え、次の一世紀を支える組織・財政の基盤強化を図る。

4. 主な新規・重点事業等

(1) 福島再生に向けたまちづくりの具体化（将来ビジョンの策定）

(中心市街地) ~健康をキーワードにしたまちづくり~

▶シンボルストリートを形成する福島駅前通りリニューアル事業の推進（H28・29）

▶大原総合病院の移転リニューアルに伴う県庁通り等周辺商店街の整備推進

(開院：H30. 1月)

▶福島県立医科大学新学部の福島駅前通り栄町地区設置に関する支援（開学：H33. 4月）

▶街なか広場の利活用の推進

▶老朽化した公共施設の再配置と西口にぎわい交流拠点施設・福島駅新東西自由通路の検討

▶福島わらじまつりの興隆（東北六魂祭等含む）

▶福島駅前元気プロジェクト等の賑わい創出イベントの展開

(市街地及び周辺部) ~東北中央自動車道等を活用した広域連携によるまちづくり~

▶福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター（H28開所）」と地元企業との連携に関する研究

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して ~福島再生への挑戦~



▶東北中央自動車道を活用した広域連携

- ・福島 JCT ~福島大笹生 IC 間の供用開始 (H28)
- ・福島~米沢間の供用開始 (H29)
- ・福島~相馬間の供用開始 (一部開通H28~)

▶福島大笹生 IC 周辺の道の駅、工業団地の土地利用の促進

▶福島西道路の南伸と福大・医大周辺の土地利用の促進

▶福島ユナイテッド FC の支援とサッカースタジアムの検討

▶ハザードマップに対応した新たな基幹道路の検討

(観光振興) ~観光による地域振興~

▶周辺市町村と連携した広域観光の推進

▶地域資源（花見山、温泉、信夫山等）を活用した観光開発

▶日本版 DMO に関する調査・研究

▶東京オリンピック・パラリンピック (H32) およびインバウンド対策

(2) 個社支援の強化

▶経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化

▶会員実態調査に基づく経営課題への対応

- ・販路開拓

- ・事業承継、後継者対策、新規創業支援

- ・人手不足、雇用対策、女性の社会進出、ミスマッチの解消等

▶健康経営の推進

▶オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会による個社の復興・再生に向けた自立支援の推進

▶医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援

(3) 議員・役員改選と創立100周年に向けた足固め

▶議員・役員の改選と第29期新体制の確立 (H28.11月1日)

▶組織率40%達成のための「4000会員キャンペーン」の実施

▶創立100周年記念事業の検討

▶組織・財政基盤の強化

第2部 施策体系と事業

2. 施策体系

施策 I 活力ある福島の創造（地域経済の活性化）



写真：福島駅前元気プロジェクト ハルフェス in えきまえ2015（2015.4.1～5.6）

施策 II 会員事業所の発展（企業の安定・成長）



写真：第11回 メディカルクリエーションふくしま（2015.11.11～11.12）

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して～福島再生への挑戦～



施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）



写真：コラッセふくしま（福島商工会議所活動拠点）

ふるさとの元気を支えて1世紀。



おかげさまで 平成29年 創立100周年。

福島商工会議所

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(1) 施策 I 活力ある福島の創造（地域経済の活性化）

I-A 政策提言・要望活動の推進

1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上

- (1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
- (2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
- (3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究

2 政策提言・要望活動の実施

- (1) 復興・再生に関する要望
- (2) 景気対策及び中小企業対策等に関する要望
- (3) 原子力災害に関する要望
- (4) 復興のための高速自動車道・幹線道路の整備促進及び建設促進要望
- (5) 観光振興及び交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
- ★ (6) 福島市の中核市移行に関する研究及び要望活動の実施
- (7) 公共事業に対する地元企業の優先的発注の要望
- ★ (8) 福島大学農学系人材育成養成組織の設置の要望
- (9) その他必要な事項

I-B 地域開発事業の推進

1 東北中央自動車道等を活用した広域連携によるまちづくり及び観光の推進

- (1) 東北中央自動車道（福島～大磐生間）を活用した広域連携
 - ① 福島JCT～福島大磐生IC間の供用開始に伴う広域連携事業の促進 [開通: H28]
 - ② 福島大磐生IC周辺の道の駅・工業団地の土地利用の促進
- (2) 福島・相馬・米沢の地域連携の推進による経済交流及び観光振興

2 福島西道路の南伸と福大・医大周辺の土地利用の促進

3 ハザードマップに対応した新たな基幹道路の検討

I-C 復興・再生の推進

1 福島再生に向けた福島市将来ビジョンの策定～健康をキーワードにしたまちづくり～

- (1) 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化の検討
- (2) 福島市の都市形成及び居住環境整備の促進

3 中小企業振興策の充実

4 観光振興及び交流人口拡大の推進

2 福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究

I-D にぎわい・まちづくりの推進

1 中心市街地活性化の推進

(1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第2期基本計画の推進

(2) シンボルストリートを形成する福島駅前通りリニューアル事業の推進

(3) 大原総合病院の移転リニューアルに伴う県庁通り等周辺商店街の整備推進 [開院: H30.1]

☆ (4) 老朽化した公共施設の再配置と西口にぎわい交流拠点施設・福島駅新東西自由通路の検討

★ (5) 福島県立医科大学新学部の駅前通り栄町地区設置に関する支援 [開学: H33.4]

(6) 街なか広場の利活用の推進

(7) 中心市街地各種プロジェクトの推進

(8) 繁華街まちづくりセンターとの連携

2 にぎわい創出と安心・安全なまちづくりの推進

(1) 福島駅前元氣プロジェクト等のにぎわい創出イベントの展開

(2) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力

① ハロウィンふくしま等商店街イベントへの支援

② まちなかイルミネーション事業への支援

③ 「きて！みて！呑んでラリー」への協力 (主催: 福島社交飲食業組合)

(3) 関係団体との情報・意見交換

3 公共交通からみたまちづくりの研究

4 街なか情報の発信

(1) ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化 (「新しい風ふくしま懇談会」との連携)

I-E 観光による地域振興と交流の推進

☆ 1 ふくしまデスティネーションキャンペーン（アフターDC）に関すること

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して ~福島再生への挑戦~



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業

- ★ (1) フエルメールとレンブラント展への支援
[開催: 4月6日(水)~5月8日(日)]

- (2) 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

- ① 花のまちフェスティバル2016の実施

- ② 駅前通り 花ももプランター設置事業の実施

- (4) アフター DC に連動した誘客・おもてなし事業の実施及び支援

- (5) 福島県・福島市等のアフター DC 関連事業への協力

- (6) アフター DC 後のおもてなし運動推進組織の検討

2 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

重点事業

- (1) 花見山、温泉、信夫山等を活用した観光開発の促進

- (2) ふくしまフォトライブラリーの活用と情報発信の充実

- (3) JR 福島駅等の観光集客拠点と連携した観光情報の発信

- (4) 県外・海外での観光 PRへの支援・協力

- (5) ふくしま地域ポータルサイト「もりんく」の運営支援

- ★ (6) 福島市名誉市民 古関裕而氏に関連した各種事業の検討

3 観光振興のための連携の推進

重点事業

- (1) 周辺市町村と連携した広域観光の推進

- ★ (2) 日本版 DMO に関する調査・研究 (※注釈)

- (3) 観光関係団体との連携強化

- ① 飯坂・土湯・高湯温泉観光協会 (3温泉地) との連携による魅力アップ及びスカイラインの再開通への対応

- ② 福島市観光コンベンション協会との連携強化

- ③ 福島県観光戦略会議への協力

- ④ 肇梯吾妻観光推進協議会への協力

- ⑤ ふくしま荒川ミュージアム推進会議への協力

4 交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

- (1) 福島ユナイテッド FC の支援とサッカースタジアムの検討

重点事業

- ① サポーターズクラブへの加入促進

- ② サッカースタジアム建設に向けた支援

- ③ クラブ活動に関する広報支援

- (2) ふくしま吾妻荒川花見山ツーマーチの運営支援
[開催: 4月9日(土)~10日(日)]

- (3) あづま荒川クロスカントリー大会の運営支援 (物産振興)
[開催: 毎年12月]

5 國際交流及びインバウンド推進

- (1) 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた誘客事業の調査・研究

- ★ (2) インバウンド対策に関する調査・研究

- (3) ふくしま台湾友好協会との交流の促進

I-F 地域の祭り・伝統文化の興隆

1 福島わらじまつりの興隆

重点事業

- (1) 第47回福島わらじまつりの開催
[予定: 8月5日(金)、6日(土)]

- (2) 東北六魂祭2016青森への参加
[予定: 6月25日(土)、26日(日)青森市内]

- (3) 県内外における PR 活動の推進

2 第37回ふくしま花火大会の実施協力

[予定: 7月30日(土)]

3 2016ふくしま県北山車フェスタの実施協力

[予定: 6月4日(土)]

4 信夫三山暁まいりに対する支援・協力

5 踊り屋台の活動支援

I-G 消費拡大の推進

1 飲食店ガイド・パンフレット等活用による消費拡大の推進

- (1) 「2016ようこそふくしま・うまいもの店&湯けむり紀行宿泊ナビ」の作成・配布

- (2) 優待食事券事業「2016春・ランチで食うポン」の作成・配布

- (3) 「ディナーで呑む食うパスポート」の作成・配布

2 物産の振興による消費拡大の推進

※注釈) 日本版 DMO : 多様な関係者との連携により、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりの実現のための戦略を策定し、着実に実施するための調整機能を備えた法人。

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長）①

II-A 小規模事業者の伴走型支援の推進

- ☆ 1 小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化 **重点事業**

- ★ 2 ふるさと元気支援事業の推進 **重点事業**

※会員実態調査により浮かび上がった経営課題に挑戦する企業を「ふるさと元気支援基金」を活用して支援を実施

3 連携による中小企業振興の推進

- ★ (1) 福島市中小企業振興基本条例に基づく施策の推進

- ★ (2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会による個社の復興再生に向けた自立支援の推進

II-B 相談支援体制の充実・強化

1 金融に関すること

- (1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進

- (2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進

- (3) 会員向け特別融資制度（メンバーズローン）の利用促進

- (4) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進

- (5) 金融相談会の開催

2 税務・経理に関すること

- (1) 記帳、決算指導及び確定申告に関する支援

- (2) 記帳の電子化に関する支援（ブルーリターンA等）

- (3) 雑損控除、消費税申告に関する支援

3 消費税に関すること

- (1) 消費税転嫁対策窓口相談事業の実施

- ① 個別経営なんでも相談会の開催

- ② 消費税転嫁対策セミナーの開催

- ★ (2) 消費税軽減税率導入に関する相談事業の実施

4 労務に関すること

5 原子力損害賠償に関すること

6 産学官連携の推進

7 専門家による指導体制の充実

- (1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業

- (2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用

- (3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導

- (4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施

- (5) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施

II-C 経営革新の推進

- 1 経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化

- (1) 経営革新計画策定及び認定に関する支援

- (2) 経営革新に関する個別相談会の開催

II-D ビジネス拡大の推進

- 1 小規模事業者の販路拡大支援
(補助金活用による経営安定化の推進)

- ☆ 2 医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援

- 3 医産連携推進事業の充実 **重点事業**

- (1) 福島市医産連携研究会の推進

- (2) 県立医科大学と中小企業のマッチング及び医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援

4 ビジネスチャンスの提供

- (1) 会員交流会・商談会の開催

- (2) ICT の利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録促進等）

- (3) DM 配送サービス（企業情報宅配便）による取引拡大支援

- (4) 商取引の照会・斡旋

5 優良事業所会員表彰制度による会員企業の顕彰

6 経営リスク回避策の支援

- ★ (1) BCP 策定に関する支援

- (2) 倒産防止共済制度の普及促進

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して ~福島再生への挑戦~



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業

- (3) 中小企業 PL 保険制度の普及促進
- (4) 個人情報漏えい賠償責任保険制度の普及促進
- (5) 業務災害補償プランの普及促進
- (6) 休業補償プランの普及促進

II-E 事業再生・事業承継の支援

- 1 事業再生に関すること
 - (1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
 - (2) 事業転換、早期撤退に関する助言
- 2 事業承継に関すること
 - (1) 事業承継のマッチングに関する支援
 - (2) 事業承継に関する個別相談の実施

- (1) 検定試験受験に関する企業等への PR 強化
- (2) 各種検定試験の実施
 - ① 簿記検定
(企業会計知識の習得)
 - ② 販売士検定及び販売士資格更新講習会
(消費者の「買いたい」をつくる力の習得)
 - ③ 珠算検定
(記憶力及び情報処理力の習得)
 - ④ PC 検定
(パソコンを駆使した効果的・効率的な業務遂行力の習得)
 - ⑤ 福祉住環境コーディネーター検定
(医療×福祉×建築の総合力の習得)
 - ⑥ ビジネス実務法務検定試験
(ビジネス上の基本法律知識の習得)
 - ⑦ カラーコーディネーター検定
(色彩効果の活用力の習得)
 - ⑧ 環境社会検定 (eco 検定)
(ビジネスと環境の相関説明力の習得)
 - ⑨ ビジネスマネージャー検定
(マネジメントの基礎知識の習得)

II-F 創業の推進

- 1 新規創業支援の充実
 - (1) 創業スクールの実施
 - (2) 創業に関する個別相談の充実
 - ① ビジネスプラン作成の支援
 - ② 開業資金の調達に関する支援

II-G 人材育成事業の推進

- 1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施
 - (1) 商売繁盛塾の開催
 - (2) 経営課題別セミナーの開催
 - (3) 組織階層別セミナーの開催 (新入社員、中堅社員、営業社員等)
 - (4) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催 (県北技塾)
- 2 各種検定試験による商工技能の向上

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(2) 施策Ⅱ 会員事業所の発展（企業の安定・成長）②

II-H 雇用対策事業の推進

1 若者の雇用及び地元定着に関する事業 **重点事業**

- (1) 高等学校との連携による意見交換会、教諭向け企業見学会等の開催
- ★ (2) 大学が中心となって実施する「COC + 事業」への協力（※注釈）
- (3) 県外から福島へのU・I・Jターンについての研究

2 女性の活躍推進に関する事業 **重点事業**

- (1) 女性の職域拡大や育児・介護と仕事の両立についての先進的な取り組み事例の研究
- (2) 女性活躍推進法を始めとする国及び地方自治体の女性活躍推進施策についての研究

3 健康経営の推進 **重点事業**

★ 4 会員事業所従業員の婚活事業の推進

5 雇用及び人材育成の施策・事業に関する事業

- (1) 雇用関連施策・助成金の周知方法についての検討
- (2) 市内外企業の人材育成事例についての研究

6 雇用創出事業の推進

- (1) ジョブ・カード制度推進事業の実施
- (2) 福島市雇用促進サポート事業の実施（大学生等のインターンシップを含む）

7 雇用環境の整備に関する事業

- (1) 高年齢者雇用安定法に関する調査・研究
- (2) ワークライフバランスの調査・研究

II-I 各種調査・情報提供

1 登録・申請・検査業務の実施

- (1) 公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
- (2) 容器包装リサイクル業務の実施
- (3) GS 1 コード（JAN メーカーコード）の登録受付業務の実施
- (4) 原産地証明の発行
- (5) 加工食品の放射性物質測定

- (6) 放射線測定器の貸出

2 地域経済に関する各種調査の実施

- (1) LOBO（早期景況観測）調査
- (2) 年末年始商戦アンケート調査
- (3) 中小企業景況調査

II-J 業種別振興事業の推進

1 卸売業に関する事業

- (1) 卸売業の先進事例に関する勉強会・視察会の開催
- (2) 卸売業の業種分野ごとのテーマによる勉強会の開催
- (3) 東北中央自動車道開通に向けた広域経済連携事業の開催
- (4) 米沢商工会議所 商業部会・食料品部会との交流事業
- (5) 小売商業部会等との連携

2 小売業に関する事業

- (1) 個店の魅力向上を図り、売上増加に資する事業の推進
- (2) 地域経済活性化に関する事業への支援
- (3) 販路拡大に向けての商業施設、商店街、展示会等の先進地視察会の実施
- (4) 卸商業部会、他地域商工会議所等との交流事業の実施

3 工業に関する事業

- (1) 県内外他地域工業部会との交流の推進
- (2) 産学官連携の推進
- (3) 人材育成事業の実施（県北技塾）
- (4) 製造業支援施策の情報提供

4 建設業に関する事業

- (1) 建設業の支援強化に向けた取り組み（先端技術を活用した省力化等）
- (2) 建設業が取り組む課題について行政等との意見交換
- (3) 各種要望活動の実施

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して ~福島再生への挑戦~



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業

- (4) 除染関連事業に対する協力
- (5) 福島の地域開発（まちづくり、東北中央自動車道等）に関する情報の共有
- (6) まちづくり等に関する先進地の視察

5 金融業に関すること

- (1) 福島復興・再生に向けた事業への支援協力（再生可能エネルギーによる復興事業、アフター DCへの協力支援等）
- (2) 経営発達支援計画における金融機関等との連携強化
- (3) 経済・金融及び地域動向に関連する講演会の開催

6 運輸交通業に関すること

- (1) 公共交通とまちづくりに関する研究及び福島再生に向けたまちづくりの施策、事業等情報の提供
- (2) 福島市内外の交通体系に関する情報の提供及び公共交通のあり方についての研究
- (3) 公共交通の確保及び利活用向上及び業界の経営課題についての研究
- (4) ふくしま DC（アフター DC）成功へ向けた支援・協力

7 旅館飲食業に関すること

- (1) 観光施策等に関する支援・協力（アフター DC、フェルメールとレンブラン展等）
- (2) 地域の「食」を重視した着地型観光戦略への支援と地産地消の推進
- (3) 地域飲食店の繁盛支援（ようこそふくしま「うまいもの店」「湯けむり紀行」による飲食店等 PR の推進等）
- (4) 関係機関との連携強化（「福島きて！みて！呑んでラリー」への協力等）

8 通信サービス業（情報文化）に関すること

- (1) 福島市再生に向けた情報通信分野としての取り組みに関する意見交換会の開催
- (2) 情報通信サービスに関するセミナー等の開催
- (3) 先進地視察会の開催
- (4) 福島市の情報発信に関する支援・協力

9 不動産業に関すること

- (1) 福島市のまちづくりについての提言（土地利用、企業誘致、中間貯蔵所・仮置場の早期設置）
- (2) 行政・関係機関との懇談会等の開催
- (3) 福島市のまちづくりに関する動向や福島市のまちづくり計画に関する情報の提供と支援
- (4) 「健康」「エネルギー」「減災」等をテーマとしてまちづくりを進める先進地の視察

- (5) 部会員、会員、市民を対象とした不動産に関するセミナー等の開催

10 麻業に関すること

- (1) 福島の観光資源から見た地域支援活動（海外からの誘客活動に関する情報交換会、信夫山探訪による観光PR、おもてなし啓発活動）
- (2) スポーツ振興に関する支援活動（福島ユナイテッド FC 応援ツアーア）
- (3) 広域連携を視野に入れた会員事業所経営支援（先進事例視察会、各種税制改正の情報提供）

II-K 福利厚生の充実

1 会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

- (1) 生命共済制度の普及・拡大
- ★ (2) 新生命共済制度の PR 及び普及・拡大 重点事業
- (3) 特定退職金制度の普及・拡大
- (4) 小規模企業共済制度の普及・拡大

2 会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

- (1) 生活習慣病検診の実施

3 会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

※注釈) COC 十事業：地方創生の一環として、県内の大学・短大が地元就職への機会を増やすための取り組み。

第2部 施策体系と事業 2. 施策体系

(3) 施策Ⅲ 魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）

III-A 商工会議所の運営強化

★ 1 議員・役員の改選と第29期新体制の確立 (H28.11.1) 重点事業

2 運営強化のための会議等の充実

- (1) 常議員会・議員懇話会の充実
- (2) 部会長・委員長と正副会頭との意見交換会の開催
- (3) 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催
- (4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催
- (5) 他地区商工会議所の視察及び懇談会の開催
- (6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催
- (7) 福島市新年市民交歓会の開催

3 部会・委員会の運営強化

4 女性会・青年部の運営支援と連携強化

- (1) 福島商工会議所女性会の運営
- (2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営
- (3) 福島商工会議所青年部の運営
- (4) 各種事業への支援と連携強化

5 福島県商工会議所連合会の運営

- (1) 各種会議の開催（会頭会議、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）
- (2) 要望・懇談の実施
- (3) 風評被害対策事業の実施
- (4) 県内商工会議所職員研修の実施（経営指導員研修、補助員研修、一般職員研修）

6 外部団体との連携

- (1) 福島市商店街連合会
- (2) 福島市商店街連合会青年部
- (3) 福島青色申告会連合会
- (4) 福島市青色申告会
- (5) 福島県珠算連盟

(6) 福島珠算連盟

(7) 福島わらじまつり実行委員会
福島夏まつり委員会

(8) 福島エネルギー懇談会

(9) 東北経済連合会福島地域懇談会

(10) 福島県警察官友の会連合会

(11) 福島地区警察官友の会

(12) 福島県観光土産品公正取引協議会

(13) 福島県自衛隊協力会連合会

(14) 福島市自衛隊協力会

(15) 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会

(16) 福島リサイクル推進協議会

(17) ふくしま台湾友好協会（海外交流の推進）

(18) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会

(19) 福島市にサッカースタジアムを作る会

III-B 創立100周年に向けた施策の検討

1 創立100周年記念事業の検討 重点事業

2 組織率40%達成のための「会員4000キャンペーン」の実施 重点事業

★ 3 創立100周年記念オリジナルカレンダーの作成

III-C 運営基盤の強化

1 組織・財政基盤の強化 重点事業

2 会員事業所の巡回訪問

3 未加入事業所に対する会員勧奨

III-D 事務局機能の強化

1 事務局組織の見直しと強化

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して～福島再生への挑戦～



[凡例] ★新規事業 ☆リニューアル事業

2 職員の経営支援能力等の向上

3 各種業務の見直し並びに改善の徹底

4 法令遵守体制の強化・改善

5 会議所規則等の見直し

III-E 情報収集力と発信力の強化

1 情報戦略の構築

(1) 会員事業所への発信情報の研究・強化

(2) 未加入事業所と市民への発信情報の研究・強化

① 街かど情報ステーション・ホットボックスによる情報発信

② ももりんビジョンによる情報発信

(3) メディアへの発信情報の研究・強化

① マスコミとの意見交換会の開催

② ラジオによる情報発信

(4) CI（コーポレートアイデンティティー）の構築

2 所報 Fukushima の発行と充実

3 物産展示室における資料提供の拡充・強化

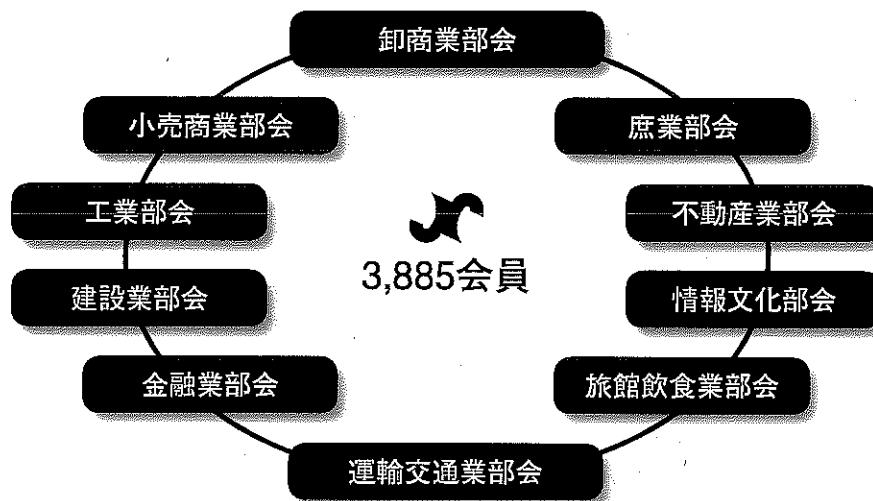
4 ホームページ及びICT環境の整備促進

第3部 部会と委員会事業

1. 部会事業（※正副部会長については平成28年3月17日現在）

部会とは

- 「部会」は業種ごとの会員で構成される商工会議所の基盤組織です。
- 福島商工会議所では10の部会を設置しています。
- 部会ごとに会員及びその業種・業界の発展のための活動を行います。



平成28年度は議員・役員改選期となり、新体制となります。（新体制（第29期）：平成28年11月1日～平成31年10月31日）

1. 卸商業部会

担当副会頭：後藤 忠久

1. 卸売業の経営力強化に関すること
 - (1) 卸売業の先進事例に関する勉強会・視察会の開催
 - (2) 卸売業の業種分野ごとのテーマによる勉強会の開催
2. 卸売業の商業環境の向上に関すること
 - (1) 東北中央自動車道開通に向けた広域経済連携事業の検討
 - (2) 米沢商工会議所商業部会・食料品部会との交流事業の開催
 - (3) 福島商工会議所小売商業部会等との連携
3. 創立100周年記念事業への支援・協力
平成29年に創立100周年を迎えるにあたっての各種事業に対する協力

第28期 正副部会長

部会長 (株)岩見
代表取締役会長 岩見 政弘

副部会長 (株)近野
代表取締役社長 近野 輝雄

副部会長 渋谷レックス(株)
代表取締役社長 渋谷 順子

副部会長 (株)マクサムコミュニケーションズ
代表取締役社長 右近 八郎

「元気でにぎわいのある県都ふくしま」を目指して ~福島再生への挑戦~



2. 小売商業部会

担当副会頭：後藤 忠久

1. 個店の魅力向上を図り、売上増加に資する事業の推進
 - (1) 消費税軽減税率導入に向けた準備の支援
(消費税軽減税率に関するセミナー及び個別相談会の開催 等)
 - (2) 個店の魅力向上に関するセミナーの開催
(接遇・おもてなし力向上、販促力強化、売場力向上、商売繁盛塾 等)
 - (3) 個店の売上増加に資する事業の推進
(販売促進や経営計画に関する専門家派遣事業利活用の推進 等)
2. 地域経済活性化に関する事業への支援
 - (1) 地域商業活性化に関するイベント等への支援・協力
(ふくしまアフター DCへの協力、商店街連合会事業との連携 等)
 - (2) 新規創業及び第二創業に関する事業への支援・協力
(創業塾、商売繁盛塾の開催 等)
 - (3) 国・県等の経済施策や、地域開発の動向に関する各種情報の収集及び提供
3. 視察会・交流事業の実施
 - (1) 販路拡大に向けての商業施設、商店街、展示会等の先進視察会の実施
 - (2) 当所卸商業部会や他地域商工会議所との交流事業の実施
(東北中央自動車道の開通に関する米沢商工会議所との交流事業の継続実施)
4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への支援・協力

第28期 正副部会長

部会長	(株)いとい
代表取締役社長	伊藤 信弘
副部会長	(株)オノヤスポーツ
会長	五十嵐俊一郎
副部会長	(株)川瀬酒販
代表取締役	川瀬 成人
副部会長	(株)ダイユーエイト
専務取締役	三瓶 善明
副部会長	福島市商店街連合会
会長	小河日出男

3. 工業部会

担当副会頭：菅野日出喜

1. 県内外他地域工業部会との交流の推進
福島県は東北一の工業製品出荷額を誇る工業県であり、その中で会津若松市は、市内にコンピュータ理工学に特化した特色のある大学である会津大学を有する都市である。
来年度については、その会津大学の視察を行うとともに、会津若松商工会議所工業部会との懇談会を実施することにより、県内の他地域の工業部会との交流を推進する。
また、昨年実施した米沢商工会議所工業部会との懇談会を、来年度は福島にて実施することとし、同部会とのさらなる交流の推進を図る。
2. 産学官連携の推進
 - (1) 平成29年度に東北中央自動車道が福島市から米沢市まで開通する予定であるが、それに合わせて同市に拠点を置く山形大学工学部から講師を招き、同大学の研究内容や産学連携の現状などについて講演会を開催することにより、同大学との今後さらなる連携の推進を図る。
 - (2) 東日本大震災を契機にその重要性が改めて脚光を浴びた「再生可能エネルギー」の国内最大の研究拠点として平成26年4月に郡山市に開設された「産総研福島再生可能エネルギー研究所」を視察することにより、同研究所との連携の可能性を探る。
3. 人材育成事業の実施
管内製造企業の人材育成事業である「県北技塾」を開催することにより、個々の技術者等のレベルアップを図り、地域製造業者の底上げを目指す。
4. 製造業支援施策の情報提供
国・県・市などが行う製造業支援施策等について情報提供を実施する。
5. 創立100周年記念事業への支援・協力
当所は、来年、創立100周年を迎える予定であり、それを記念して様々な事業が行われる予定となっているが、当部会としてもそれらの事業に積極的に協力をしていく。

第28期 正副部会長

部会長	福島製鋼(株)
代表取締役社長	清水 良一
副部会長	アサヒ通信(株)
代表取締役会長	菅野 國延
副部会長	加藤鉄工(株)
代表取締役社長	加藤 利夫
副部会長	サンヨー缶詰(株)
取締役社長	三枝 通晃
副部会長	(株)福島製作所
代表取締役社長	藤原 英男
副部会長	ワイチーエル(株)
取締役会長	山岸 則紀
副部会長	(株)山川印刷所
代表取締役会長	山川 章
副部会長	福島キャノン(株)
代表取締役社長	深澤 秀樹

4. 建設業部会

1. 建設業の支援強化に向けた取り組み

- (1) 先端技術を活用した省力化等の取り組みに関する研究
- (2) 各種人材育成への取り組み支援
 - ・健康経営の考え方や女性活躍の環境づくり、若年層へのアピールなど
- (3) 今後建設業が取り組む課題について行政等との意見交換
- (4) 各種要望活動の実施
- (5) 除染関連事業に対する協力
- (6) 各種助成金等企業支援に関する情報提供

2. 福島の地域開発に関する情報の共有

- (1) 中心市街地活性化等まちづくりについて
- (2) 東北中央自動車道福島～米沢間、福島～相馬間開通に向けた周辺整備の動きについて

3. 先進地視察会の実施

まちづくり等に関する先進地の視察

4. 創立100周年記念事業への支援・協力

平成29年度、福島商工会議所創立100周年に向けて行われる各種事業に対し、当部会として積極的に支援・協力をを行う。

※関連する事業においては、他の部会・委員会並びに関連団体との連携を図って実施する。

担当副会頭：渡邊 和裕

第28期 正副部会長

部会長	(株)本多工務所 相談役	本多 紀男
副部会長	入三機材物 代表取締役	上西 駿介
副部会長	大槻電設工業(株) 代表取締役	大槻 博太
副部会長	第一温調工業(株) 取締役会長	本多 修二
副部会長	株社設計 代表取締役	鈴木 宏幸
副部会長	日東物産㈱ 代表取締役会長	大橋 廣治
副部会長	亀谷建設㈱ 代表取締役	亀谷 典良
副部会長	コバックス(株) 代表取締役	小林 仁一
副部会長	小林土木㈱ 代表取締役	小林 健夫
副部会長	(株)古俣工務店 代表取締役社長	古俣 勝
副部会長	佐藤工業(株) 代表取締役社長	佐藤 勝也
副部会長	(株)大丸工務店 代表取締役	大和田知昭
副部会長	株高橋設備工業所 代表取締役	高橋 一朗
副部会長	東信建設㈱ 代表取締役	佐久間政文
副部会長	福島ネオ工業(株) 代表取締役	吉川 昭
副部会長	文化設備工業(株) 代表取締役	川津 博彰
副部会長	(株)ユアテック福島支社 上席執行役員支社長	早坂 弘

5. 金融業部会

担当副会頭：菅野日出喜

第28期 正副部会長

部会長	福島信用金庫	
理事長		樋口 郁雄
副部会長	(株)東邦銀行 専務取締役	阪路 雅之
副部会長	(株)福島銀行 取締役社長	森川 英治

1. 福島復興・再生に向けた事業への支援協力

- (1) 再生可能エネルギーを活用した復興事業の実態と今後の支援策の研究
(観察先) 福島再生可能エネルギー研究所(郡山市)
- (2) 行政並びに関係機関等からの復興支援策の情報収集及び提供
- (3) アフターDC事業への支援協力

2. 中小企業支援における金融機関との連携強化

- (1) 経営発達支援事業の円滑な実施にあたり、金融機関等との連携を強化するとともに、中小企業者の持続的な発展に繋がる各種事業の伴走型による個社支援の連携
- (2) 創業・新事業支援における金融機関等との連携協力
- (3) 事業承継や事業再生等の課題に対して、支援機関等との連携強化

3. 創立100周年記念事業に関する支援・協力

- ・創立100周年記念実行委員会が実施する各種事業に対する支援協力
- 4. 経済・金融及び地域動向に関連する講演会の開催
 - ・経済・金融・地域動向をはじめ、事業計画に記載した項目やタイムリーな情報に関する講演を開催する。

「元気でにぎわいのある県都ふくしま」を目指して ~福島再生への挑戦~



6. 運輸交通業部会

担当副会頭：渡邊 和裕

1. 公共交通とまちづくりに関すること

- (1) 公共交通とまちづくりに関する研究並びに講演会等の開催
- (2) 福島再生に向けたまちづくりの施策・事業について情報の提供

2. 福島市内外の交通体系に関すること

- (1) 東北中央自動車道、福島西道路南伸、市内幹線道路に関する情報の提供
- (2) 公共交通のあり方についての研究

3. 運輸業界の抱える課題に関すること

- (1) 公共交通の確保及び利活用向上について研究
- (2) 業界の経営課題について研究
- (3) 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会」への協力

4. 観光施策等に関すること

- ふくしまデスティネーションキャンペーン（アフター DC）成功へ向けた部会全体としての支援・協力

5. 福島商工会議所創立100周年記念事業への支援・協力に関すること

- 平成29年に創立100周年を迎えるにあたっての各種事業に対する協力

※各事業を実施する際は、各委員会・部会と連携し内容の強化を図りたい。

第28期 正副部会長

部会長 福島トヨタ自動車(株)

代表取締役社長 佐藤 健介

副部会長 株日産サティオ福島

代表取締役会長 金子 與宏

副部会長 ネットトヨタ福島(株)

代表取締役会長 大沼 健次

副部会長 福島貸切辰巳屋自動車(株)

代表取締役社長 坪井 大雄

副部会長 福島交通(株)

代表取締役社長 武藤 泰典

副部会長 日本通運(株)福島支店

支店長 松島 輝

7. 旅館飲食業部会

担当副会頭：渡邊 和裕

1. 観光施策等に関する支援・協力

- (1) ふくしまデスティネーションキャンペーン（アフター DC）成功へ向けた事業への支援・協力
- (2) 「フェルメールとレンブラント展」（平成28年4月6日～5月8日開催）への協力
- (3) 地域の「食」を重視した着地型観光戦略への支援と地産地消の推進
- (4) 福島市「ももりんカフェ」事業への協力

2. 地域飲食店の繁盛支援

- (1) 『ようこそふくしま「うまいもの店」・「湯けむり紀行』の作成による飲食店等 PR活動の推進
- (2) 当所「ランチで食うポン」事業への協力

3. 関係機関等との連携の強化

- (1) 中心市街地活性化へ向けた「福島きて！みて！呑んでラリー」への協力
- (2) 県・市觀光部局、関係機関等との連携の強化および推進

4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への支援・協力

- (1) 創立100周年記念実行委員会が実施する各種事業に対する支援協力
- (2) 創立100周年に向けた4000会員キャンペーンへの協力

※各事業を実施する際は、各委員会・部会と連携し内容の強化を図りたい。

第28期 正副部会長

部会長 (株)ザ・ホテル大亀

代表取締役社長 渡邊 豊

副部会長 福島飲食業組合

組合長 首野 裕輔

副部会長 福島社交飲食業組合

組合長 鈴木 悅朗

副部会長 (有)吉川屋

代表取締役社長 須崎 隆章

副部会長 (有)シーリン

代表取締役社長 日比野恒夫

8. 情報文化部会

担当副会頭：後藤 忠久

1. 福島市再生に向けた情報通信分野としての取り組みに関する意見交換会の開催

福島市の再生に向けた課題について検討するため、先進的に取り組む事例についての講演会を開催し、意見交換の中から情報通信分野として取り組むべき内容について研究する。

◇テーマ

- (1) 「地方創生の推進」
- (2) 「健康」をテーマとした福島市のまちづくり
- (3) 観光資源を活用した地域振興策の検討

2. 情報通信サービスに関するセミナー等の開催

情報通信分野における企業活動や動向について、時宜を得た情報の収集及び提供を行う。

◇テーマ

- (1) 情報セキュリティに関する講演会
- (2) 通信サービスの新分野に関する講演会

3. 先進地視察会の開催

情報通信分野の新たな取り組みや、まちづくり等に関する先進的な事例についての視察会を開催する。

4. 部会員スピーチの実施

情報関連事業者で構成される当部会の独自事業として、部会員が持つ業界、地域、文化、情報通信等に関する情報や地域問題・社会問題などの分野を問わない知見を共有する機会を設け、部会員相互の資質向上、理解と交流を図る。

5. 福島商工会議所創立100周年記念事業への支援・協力

平成29年度、福島商工会議所創立100周年に向けて行われる各種事業に対し、当部会として積極的に支援・協力を図る。

6. 福島市の情報発信に関する支援・協力

福島市全ての情報の玄関口となるポータルサイト「ももりんく」。この運営に支援・協力し、福島市の情報発信力の維持・向上を図る。

第28期 正副部会長

部会長 福島テレビ株

代表取締役社長 穂澤 修一

副部会長 朝日システム株

代表取締役社長 博多 義雄

副部会長 (株)インフォメーション・ネットワーク福島

代表取締役社長 梅津 裕

副部会長 (株)レビュー福島

代表取締役社長 信国 一朗

副部会長 東日本電信電話(株)福島支店

支店長 山内 功

副部会長 (株)ラジオ福島

代表取締役会長 本多純一郎

「元気でにぎわいのある県都ふくしま」を目指して ~福島再生への挑戦~



9. 不動産業部会

担当副会頭：和合アヤ子

1. 福島市のまちづくりについての提言
 - (1) 土地利用や企業誘致に関すること
 - (2) 中間貯蔵所、仮置場の早期設置に関すること
 - (3) 行政・関係機関との懇談会等の開催
2. 福島市のまちづくりに関する動向や
福島市のまちづくり計画に関する情報の提供と支援
3. 観察の実施
「健康」「エネルギー」「減災」等をテーマとしてまちづくりを進める先進地の観察
4. 会員事業所への情報提供
 - (1) 部会員、会員、市民を対象とした不動産に関するセミナー等の開催
 - (2) 所報「ふくしま」に「不動産ひとくちコラム」を連載
5. 平成29年福島商工会議所創立100周年記念事業への支援・協力

※各事業を実施する際は、各委員会・部会と連携し内容の強化を図りたい。

第28期 正副部会長

部会長	日本通商(株)	藤田勝太郎
副部会長	東栄物産(株)	
	代表取締役	安部 宏
副部会長	(株)エスケーコーポレーション	
	会長	岡部 政美
副部会長	(有)菅野地所	
	代表取締役	加納 武志
副部会長	小松興商(株)	
	代表取締役	小松 富彦
副部会長	(株)高橋不動産鑑定事務所	
	代表取締役	高橋 雄三
副部会長	(株)北陽不動産鑑定事務所	
	代表取締役	金子 克之
副部会長	(株)芭蕉堂	
	代表取締役	斎藤 伸洋

10. 廉業部会

担当副会頭：和合アヤ子

1. 福島の観光資源から見た地域支援活動
 - (1) 海外からの誘客活動に関する情報交換会の開催
(会員事業所の取り組み勉強会)
 - (2) 信夫山探訪による観光PR活動の強化
 - (3) おもてなし啓発活動の開催
(多言語によるおもてなし講習・活動等)
2. スポーツ振興に関する支援活動
・福島ユナイテッドFC応援ツアーの開催(県外アウェー戦)
3. 広域連携を視野に入れた会員事業所経営支援
 - (1) 先進事例視察会による勉強会の開催
 - (2) 各種税制改正の情報提供
4. 会議所創立100周年記念事業への支援・協力
・創立100周年事業計画に関する協力と会員増強活動支援

※必要に応じ、他部会や委員会との連携を図りながら、事業を進めていくものとする。

第28期 正副部会長

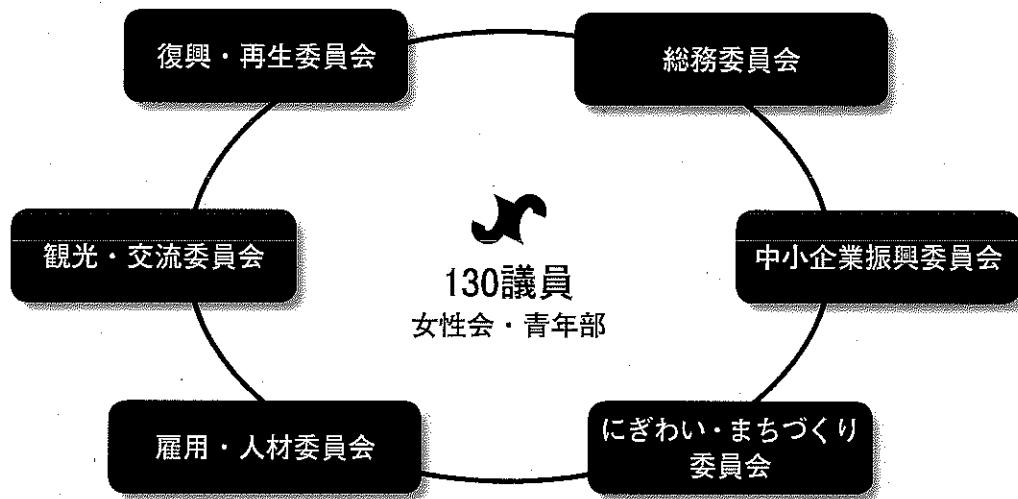
部会長	こころネット(株)	
	代表取締役会長	菅野 松一
副部会長	キヨウワプロテック(株)	
	代表取締役	吾妻 学
副部会長	(株)クリーンテック	
	相談役名誉会長	反後 寛雄
副部会長	日本中央競馬会福島競馬場	
	場長	勝見 浩二
副部会長	福島市観光開発(株)	
	代表取締役社長	高橋 正美

第3部 部会と委員会事業

2. 委員会事業 (※正副委員長については平成28年3月17日現在)

委員会とは

- 「委員会」は、福島全体の発展を目的とする商工会議所の基盤組織です。
- 地域の課題に対応するため、6つの委員会が設けられています。
- 議員企業と女性会・青年部で構成され、それぞれの知見を活かしていきます。



平成28年度は議員・役員改選期となり、新体制となります。(新体制(第29期)：平成28年11月1日～平成31年10月31日)

1. 総務委員会

担当副会頭：菅野日出喜

平成29年7月の創立100周年を見据え、福島商工会議所活動の活発化の推進のため、商工会議所としての基盤を強固とし、組織の活性化を図ることを目的に、平成27年度からの事業を継続して実施していく。

1. 商工会議所創立100周年に向けた検討

- 平成29年に実施される創立100周年記念式典・祝賀会及び講演会の検討
- 創立100周年を見据えた商工会議所の在り方の検討

2. 商工会議所組織の活性化に関すること

- 部会・委員会の活動及び各種会議の活性化に関する検討
- 商工会議所活動の活発化を図るために組織(部会・事務局等)に関する検討

3. 商工会議所の財政安定化に関すること

- 創立100周年に向けた4000会員キャンペーンの継続実施並びにその他会員増強に関する検討
- 共済制度加入促進のための各種検討
- 商工会議所の財政計画の検討

第28期 正副委員長

委員長 朝日システム(株)
代表取締役社長 博多 義雄

副委員長 こころネット(株)
代表取締役会長 菅野 松一

副委員長 (株)ダイユーエイト
専務取締役 三瓶 善明

「元気でにぎわいのある県都ふくしま」を目指して～福島再生への挑戦～



2. 復興・再生委員会

担当副会頭：後藤 忠久

福島市将来ビジョンの策定

～「健康」をキーワードとしたまちづくり・職場づくり～

復興・再生委員会では、平成26年度～28年度を1事業単位と捉え、「福島市将来ビジョンの策定」をテーマとした活動を実施しています。

平成26年度・27年度では、福島市の現状を把握するため、行政や専門家へのヒアリングや会員実態調査を実施し、現状の把握と検討すべき課題の整理を行いました。

平成28年度は、福島市内で様々な施策が動き出す時期でもあります。

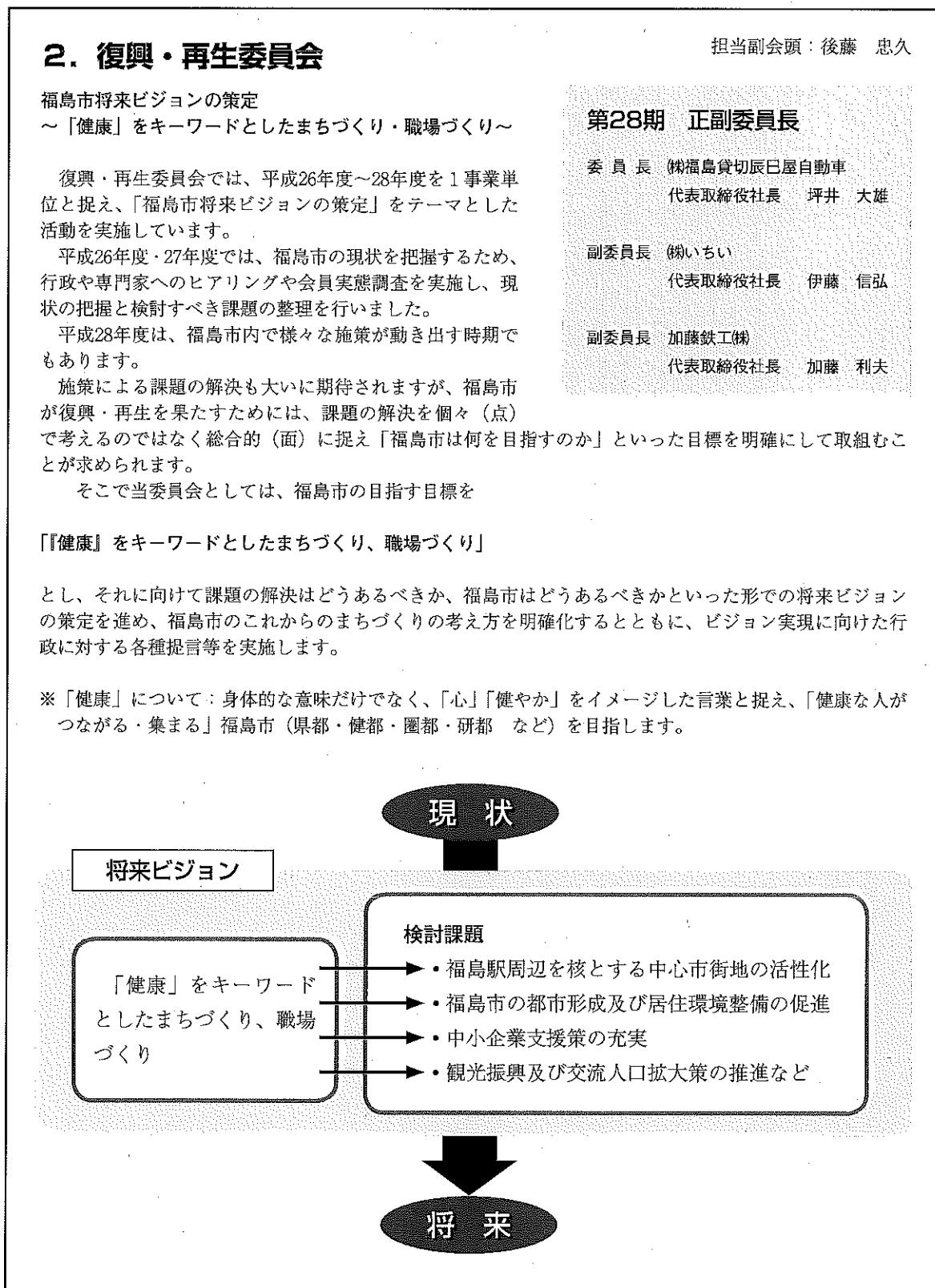
施策による課題の解決も大いに期待されますが、福島市が復興・再生を果たすためには、課題の解決を個々（点）で考えるのではなく総合的（面）に捉え「福島市は何を目指すのか」といった目標を明確にして取組むことが求められます。

そこで当委員会としては、福島市の目指す目標を

「『健康』をキーワードとしたまちづくり、職場づくり」

とし、それに向けて課題の解決はどうあるべきか、福島市はどうあるべきかといった形での将来ビジョンの策定を進め、福島市のこれからの中づくりの考え方を明確化するとともに、ビジョン実現に向けた行政に対する各種提言等を実施します。

※「健康」について：身体的な意味だけでなく、「心」「健やか」をイメージした言葉と捉え、「健康な人がつながる・集まる」福島市（県都・健都・圏都・研都など）を目指します。



3. 中小企業振興委員会

1. 改正小規模支援法に基づいた経営発達支援計画による会員事業所支援の効果・検証

経営発達支援事業は、従来の税務指導や記帳指導を中心とした取り組みから、小規模事業者のビジネスプランに基づく経営の推進、需要開拓に向けた支援等、売上の増加や利益の確保について、他の関係機関団体と連携し強化することが求められている。

その効果等については、外部審査委員会を設置し事業の評価及び見直しをするための仕組みを設けることが求められていることから、委員会として、その効果について検証する。

2. 事業承継・後継者問題等に関する支援・拡充

事業承継・後継者問題に関しては、平成26年度に実施した会員実態調査（対象事業所数3,824社、回答数1,098社）において、後継者が居ないため廃業との回答が多くなってきている。企業の減少は、地域経済維持のために重大な問題であることから、関係機関団体と連携しながら、その支援を拡充していく。

3. 優良会員事業所表彰制度の実施

新商品・新技術開発の促進、独自のサービス手法などにより著しい発展を遂げた事業所及び、省資源・省エネルギー化に積極的に取り組んでいる事業所、子育て世代の女性の社会進出や女性の積極的な登用などに貢献している事業所などを顕彰することにより、事業所の経営意欲を高め地域経済の活性化を図ることを目的に実施する。

※表彰の種類 ○経営革新賞 ○環境改善賞 ○地域貢献賞

4. 連携による中小企業振興の推進及び情報提供

- (1) 福島市中小企業振興基本条例に関する研究
- (2) オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力
- (3) 福島市の中核市移行に関する研究
- (4) 産学官連携の推進

※事業内容によっては、視察研修会を開催すると共に、他委員会や部会との連携を図りながら、事業を進めていくものとする。

担当副会頭：菅野日出喜

第28期 正副委員長

委員長 大槻電設工業㈱
代表取締役 大槻 博太

副委員長 (株)大丸工務店
代表取締役 大和田知昭

副委員長 山正酸素㈱
代表取締役会長 佐藤 允昭

4. 観光・交流委員会

テーマ「風評拭拭に向けた観光振興及び交流人口拡大」

1. ふくしまデスティネーションキャンペーン（アフター DC）に連動した誘客事業の実施及び支援

- (1) アフター DC に連動した優待食事券による交通媒体との連携及び市民向けクーポン券事業の実施
- (2) 「花のまちふくしま」による誘客事業の実施
- (3) アフター DC 成功へ向けた市内企業・商店街・市民等へのおもてなし啓発活動の推進

2. 地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

- (1) 福島市における新たな地域資源に関する調査・研究（信夫山鳥ヶ崎）
- (2) ふくしまフォトライブラーの活用と情報発信の強化
- (3) JR 福島駅をはじめとした観光集客拠点と連携した観光情報の発信
- (4) 岐阜・海外での観光 PRへの支援・協力
- (5) スポーツや全国規模のイベント等を通じた交流人口拡大への支援・協力

3. 観光振興によるふくしまの復興を図るために各種関連事業への協力及び調査・研究

- (1) 商工会議所ネットワークを活かした広域連携による交流人口拡大への支援・協力及び新たな観光メニューの調査・研究
 - ① 平成29年度に開業予定の東北中央道を活かした連携事業の調査・研究
 - ② 東北六魂祭2016青森の活用
 - ③ 先進地視察会の開催
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた福島市におけるインバウンド拡大に関する調査・研究
- (3) 各種観光関係団体との連携強化
 - ① 福島市観光コンベンション協会との連携のあり方検討
 - ② 銀坂・土湯・高湯温泉観光協会との連携による温泉の魅力アップ検討
- (4) 日本版 DMO に関する調査・研究
- (5) アフター DC 後のおもてなし運動推進組織の検討
- (6) 観光振興及び交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
- (7) 観光振興に関する各種情報提供

担当副会頭：渡邊 和裕

第28期 正副委員長

委員長 東日本旅客鉄道(株)福島駅
福島駅長 狩野 安則

副委員長 (株)ザ・ホテル大亀
代表取締役社長 渡邊 豊

副委員長 (有)吉川屋
代表取締役社長 崑 隆章

元気でにぎわいのある県都ふくしまを目指して ~福島再生への挑戦~



5. にぎわい・まちづくり委員会

担当副会頭：後藤 忠久

福島市のにぎわい創出や安心・安全なまちづくりを推進するため、行政・企業・団体・商店街が連携の強化を図ることで『地元から、地元の皆で街を元気に』することを目的とする。

1. ふくしまデスティネーションキャンペーン（アフターDC）に連動した誘客・おもてなし事業の実施及び支援

- (1) アフター DC 成功へ向けた市内企業・商店街・市民等へのおもてなし啓発活動の支援
- (2) アフター DC に連動した事業の実施
 - ① 花によるおもてなし事業の実施
 - ・福島駅前広場への花のモニュメント設置
 - ・福島駅コンコースへの花もも等の設置
 - ・花と街のふれあいプロジェクト事業への支援
 - ・駅前通り等への花ももの木プランター設置
 - ② 観光客・市民向け優待食事券事業の実施
- (3) 福島県・福島市等の DC 関連事業への協力
 - ① フェルメールとレンブラント展への協力
 - ② その他 DC 関連事業への協力

第28期 正副委員長

委員長

副委員長 ネットトヨタ福島(株)

代表取締役会長 大沼 健次

副委員長 福島市商店街連合会

会長 小河日出男

2. 中心市街地のまちづくり・季節毎の賑わいの創出

- (1) 福島市中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進
 - ① 福島駅前元気プロジェクト事業の実施
 - ・四季毎のテーマに基づくイベントの実施
 - ・各種団体主催イベントの連携・情報発信
 - ② 福島駅から県庁通り周辺地域の活性化の検討
(福島駅新東西自由通路、駅周辺賑わい交流施設、駅前通りシンボルストリート、大原綜合病院移転、福島医大新学部開学)
- (2) 安心・安全なまちづくりの推進

3. 注目されるイベント等への支援・協力

- (1) スポーツイベントを通した支援・協力
 - ① 福島ユナイテッドFCへの支援・協力
- (2) まつりをはじめとした各種行事・イベントへの支援・協力
 - ① 福島わらじまつりへの支援・協力

4. 福島商工会議所創立100周年事業の企画・立案・提案

6. 雇用・人材委員会

担当副会頭：和合アヤ子

1. 若者の雇用および地元定着に関するここと

(1) 高等学校との連携による地元定着の取組み

就職担当教諭と事業者との意見交換会、教諭向けの企業見学会を開催することにより、新規高卒者の地元採用の推進および早期離職の防止に資することとする。

(2) 大学等との連携による地元定着の取組み

福島大学が中心となって実施する「COC + 事業」への協力および会員事業所対象の福島大学共生システム理工学類の見学会、福島市雇用サポート事業による大学生等のインターンシップ等を通じて、新規学卒者の地元採用を推進する。

(3) 当所雇用関連事業の周知方法の検討

「ジョブ・カード制度推進事業」を始めとする当所の雇用関連事業について、より効果的に事業を推進していくため、制度の周知方法を検討する。

2. 女性の活躍推進に関するここと

女性の職域拡大や育児・介護と仕事の両立について、市内外企業の先進的な取り組み事例の研究を行い、広く会員事業所に周知していく。

また、女性活躍新法を始めとする国および地方自治体の女性活躍推進施策についても研究と周知を行っていく。

3. 人材育成に関するここと

(1) 健康経営に関する研究および会員への周知

(2) 人材育成事例の研究と人材育成セミナーの内容についての研究

4. 福島商工会議所創立100周年記念事業への支援・協力

第28期 正副委員長

委員長 (株)東邦銀行

専務取締役 阪路 雅之

副委員長 日東物産(株)

代表取締役会長 大橋 廣治

副委員長 (株)古俣工務店

代表取締役 古俣 猛

7. 創立100周年記念事業実行委員会

1. 創立100周年記念事業の検討

(1) 講演会 … テーマ、講師、会場、内容等の検討

(2) 式典／祝賀会 … 開催日及び開催内容等の検討

(3) 記念事業 … 独自事業、冠事業、各種タイプアップ・

連携事業等の検討

(4) 記念誌 … 形式、内容等の検討

2. 創立100周年に向けた4000会員キャンペーンの継続実施

正副委員長

委員長 菅野建設(株)

代表取締役 菅野日出喜

(※総務委員会担当副会頭)

副委員長 朝日システム(株)

代表取締役社長 博多 義雄

(※総務委員会委員長)